

お客様の信頼を得るために

基本的な考え方

お客様満足の実現とお客様からの信頼を得るために、品質の高い製品を供給しています。また、当社の技術力をPRし、お客様との関係を深めていくことに努めています。

お客様満足を実現するために

お客様満足の実現のためには、お客様の困り事やニーズの的確な把握と原因の分析が欠かせません。原因分析により困り事への対応方法が変わってくるためです。利用者の不満や不安をお客様窓口とのコミュニケーションの中から分析し対策を立てていくことが必要です。きめ細かなコミュニケーションにより、施工の時期、条件、品質、近隣の皆様への配慮などを施工部署と共有し、見積もり、設計、施工の各段階に確実に反映させるなど、お客様満足の実現に向けた取り組みを進めています。



昨年暮れの大雪に際し除雪作業に協力し、西日本高速道路(株)より感謝状をいただきました。

確かなものづくりのために

お客様による完成検査、引き渡しに至るまでの各段階で様々なチェックを行います。施工の各段階での、品質検査、結果の整理・確認を行い、不良原因の早期発見・排除を進め、品質の確保に努めています。社内で完成検査を行い厳重なチェックをした上で、お客様の完成検査を受けています。そうすることでお客様が満足する品質を提供できる体制を整えています。



私のCSR 群馬統括事業所 乾 祥一郎

私は統括事業所の民間営業に従事しています。営業している中で、お客様の機密情報を扱うこともあり、その際には、機密保持契約を結び、社内での情報共有も最小限に留めることを実施しています。その情報に関わる人の意識が重要であると考え、情報管理には常に細心の注意を払っています。

利用者目線でのものづくりのために

当社が施工する施設は建設後多くの方々に利用されます。“歩行者が少しでも歩きやすい道を”というニーズに応えたものとして歩道の透水性舗装や遮熱舗装があり、交通事故対策として排水性舗装やスピードセーブ工法等があります。また工事に伴う道路通行止めの時間短縮を図るための工法や材料の開発など、最終的な利用者の利便性を追求しています。

当社の建設物の利用者は当社の得意先にとっては「お客様」となります。最終的な利用者の利便を図ることが当社への得意先からの信頼を高めていくものと考え、事業を進めています。



人工芝を用いた岩手県営運動公園ラグビー場

技術力と技のPRのために

当社の技術力と技をPRするコミュニケーションツールとして、ニッポ・ニュースやホームページがあります。ニッポ・ニュースは当社が持つ様々な工法に関する情報を掲載したもので、年4回発行し、お客様にお届けしています。タイムリーな施工実績の紹介が好評を得ています。当社ホームページ「技術情報」の「問い合わせフォーム」を通じてお寄せいただくご質問・ご要望は、2013年度が253件、2014年度は260件でした。ニッポ・ニュースは、ホームページよりご覧いただけます。

[URL http://www.nippo-c.co.jp/](http://www.nippo-c.co.jp/)

従業員とのかかわり

基本的な考え方

従業員は企業活動の基盤であり従業員の働きがいや成長なくして企業の成長はない、という認識に基づき、全ての従業員がその能力を十分に発揮できる職場づくりや人材育成に取り組んでいます。

従業員一人ひとりがやりがいのある職場をつくること、社会的信頼の維持・向上を図るため人権問題などに関する基本的事項を推進することをCSRの柱の一つとして位置づけ、活動に取り組んでいます。また、能力開発、資質の向上のための従業員教育を充実させ、社会に誇れる従業員の育成を図ります。

労働環境整備の推進

建設産業においては、天候などの自然環境や交通事情などにより、労働時間が不規則となる傾向があります。このため不定期に過重労働になる場合があり、健康障害防止対策の徹底が求められます。こうした問題に対して、労使で構成する労働時間検討委員会にて対応策を検討し、実施しています。過重労働による健康障害防止対策としては、疲労蓄積度セルフチェックを実施し、必要に応じて保健師の面談や医師の面接を行っています。また、労使共通の認識を得られるよう各支店の労使懇談会などで話し合いの場を設け、より良い労働環境の実現に向けて努力しています。

健康増進(心とからだ)

従業員の健康管理は、労働安全衛生法に則した定期健康診断を基本として、保健師の指導やオプショナル健診を取り入れるなど、きめ細かな健診に配慮しています。健康障害防止対策として、定期健診受診率100%、再検受診率95%以上を目標とし、健康障害発生誘引者にはフォローするなど、安全配慮義務に努めるとともに、従業員の自己保健義務意識の向上を図っています。メンタルヘルスについては、対応の手引きを周知するなど、今後も従業員の心身両面にわたる健康づくりと、従業員を支える家族の健康管理に配慮していきます。

高齢者・障害者雇用の推進

健康で、働く意欲のある定年退職者に、「生涯現役」として活躍していただくため、満65歳までの再雇用制度を導入してい

ます。また、障害者の雇用については、全国の支店(11カ所)ごとに法定雇用率(2.0%)の達成を目標に定め、2015年6月1日現在の雇用率は2.11%となっています。

人権問題の啓発活動

人権問題に対する理解を深めるため、従業員への啓発活動を推進しています。今後も研修などを通じ、従業員の意識向上を図っていきます。

従業員教育

CSRの徹底を図るために、本社部門連携研修を実施しています。従業員がCSRの重要性を認識し、日常業務で確実に実践することにより企業価値を高めることを目指します。

ワーク・ライフ・バランスの実現

政府は家族や地域の大切さについての理解促進を図るため、「家族の日(11月の第3日曜日)」などを定めており、当社はこの国民運動に積極的に協力しています。主な施策として、「家族の現場見学会」「ノー残業デー」などの実施を図っています。また、休日確保を労使の重要課題として認識しており、「日曜日の全閉所および第2土曜日の統一閉所」運動を6月と11月を強調月間として推進している他、実休務日数(法定内外の休日・休暇で完全に休んだ日)を年間82日以上確保することで総労働時間の短縮を図り、仕事と生活の充実の実現に向け取り組んでいます。



家族の現場見学会



私のCSR 九州支店 為房 智香

当社では、仕事と子育ての両立が可能な働きやすい環境をつくることで、従業員全員がその能力を十分に発揮できるようにするため、次世代育成支援対策の推進をしてきました。私も2004年に第一子を、2007年に第二子を出産し、産休後の数カ月間育児休暇を取得後、職場復帰しました。今年で子どもたちは小学校5年生と3年生になりますが、これからも仕事と子育てを両立して頑張っていきたいと思っています。

社会とのコミュニケーション

災害復旧支援活動

当社では、災害時のインフラ復旧などの重要な役割を社会から期待されていることを深く認識し、長年培ってきた土木技術と全国の事業所網を活かして、地震をはじめとする自然災害が発生した場合には、復旧支援体制を組んで、いち早く現場に駆けつけます。

人命救助・消火など緊急車両の通行や人員・援助物資の輸送など、災害時の「道路復旧による通行の確保」は、極めて重要です。当社は、地元自治体等と連携して、全力で道路の復旧にあたり、一日も早い復興を支援します。

事業継続計画（BCP）は国土交通省関東地方整備局（首都圏直下型地震）の他、同省近畿地方整備局からも認定を得ており、今後も訓練等を通じてさらに見直し、充実を図っていきます。

社会貢献活動

スポーツ振興への取り組み

当社は、「ツアー・オブ・ジャパン」「ツール・ド・北海道」「ジャパンカップ」などの自転車ロードレース競技への協賛と「日本舗道レーシングチーム」を前身とする「Team NIPPO」への支援を行い、20年以上に渡って自転車競技の振興をお手伝いしています。2014年からは2020年を見据え、ナショナルチームへの支援も行っています。

2014年の「Team NIPPO」の主な大会成績は次のとおりです。同チームは世界での活躍を視野に入れた国内最上位のチームです。

ツアー・オブ・ジャパン	個人総合2位、個人総合ポイント賞
ジャパンカップ	ロードレース個人3位、山岳賞
ツール・ド・北海道	団体総合優勝、山岳賞
ツール・ド・コリア	総合ポイント賞



Team NIPPO

この他、社内運動部として剣道部は各種大会で連続入賞、テニス部は関東実業団リーグで活躍するなど、スポーツ振興に取り組んでいます。



剣道部

社会・地域コミュニケーション

当社は、アスファルト合材の販売数量に応じて、売り上げの一部を「世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄付する独自の取り組みを行っているほか、スポーツ、学術・研究をはじめ国際交流等の寄付を通じて、社会の期待に応えています。

また、全国400以上の事業所では、地域の祭礼や町内会・子ども会等の交通安全、防犯活動等のイベントに従業員が積極的に参加するとともに、多くの事業所で、独自の清掃・環境整備活動を自主的に実施しています。



私のCSR 東北支店 早坂 俊之

40歳を過ぎ、毎年実施している健康診断の結果が気になるようになりました。これまでのところ要再検査・要治療はありませんが、ここ数年は悪玉コレステロールの数値が高くなってきていることが気になり、バランスの取れた食事と節酒を心掛けるようにしています。また、休日には子どもと一緒に適度な運動を始め、生活習慣の改善にも努力しています。

基本的な考え方

全ての事業の基盤はお客様が住む地域社会にあります。当社では、地域社会とのコミュニケーションの機会を大切にし、災害復旧支援から教育・スポーツ振興まで様々な形で地域社会に貢献していきます。



岩手での清掃活動

未来を担う子どもたちとのふれあい

上記のスポーツ振興の一つとして、他企業の剣道部と一緒に中学生招待試合を行っています。2014年は160人の女子中学生を迎え、合同稽古、学校の垣根を越えた混成チームによる試合を行うなど、盛大に執り行われました。

当社横浜合材工場では、毎年東京都市大学附属中学校の3年生を迎え入れ、同校の「キャリアスタディ」に協力しています。これは中学生が様々な企業を訪問し、社会で働くことの意義や厳しさなどについて、身をもって体験する同校のプログラムです。当社は同様に大学生、高等専門学校生のインターンシップ、小・中学生の就労体験などの教育プログラムにも積極的に協力しています。



合材工場見学

また、課外活動ではありますが、栃木県壬生中学校美術部に当社栃木合材工場の外壁をキャンバスとして、他に具材を提供し、高さ2メートル、横幅50メートルの巨大壁画を作成いただきました。

同校の美術部員からは「道路の横なのでよく見える。たくさんの方に見てほしい。」など、自分たちの作品の完成度に満足しているコメントをいただき、達成感に満たされている様子がうかがえます。巨大壁画は道路に面しており、通行人の方にも自由に見ていただけるようになっています。



合材工場壁画

当社はこういった活動を積極的に応援することが、子どもたちの成長の糧となること、当社への理解を深めていただく一助になることと願っています。

当社のホームページでは「キッズサイト道づくり探検隊!」を設け、クイズなどを通して当社の主力事業である道路建設について楽しく身近に学ぶことができます。

URL <http://www.nippo-c.co.jp/kids/index.html>

また、同サイトに登場する当社のマスコットキャラクター「ミッチーくん」は「Team NIPPO」の応援会場などで会うことができます。



私のCSR エイ・エックス(株)出向 金井 裕子

「行ってきます。」と言って出勤してきた人を同じ身体のままでもたて帰宅させること。これが、安全の大きな目標だと思っています。このことのために、ルールと決められたことを守り、手間を惜しまずの安全対策と行動がとられているのだと。指差呼称の「指差し」という動作は難しいことではありません。しかし、いつでも必ずとなると努力と意識が必要な行動となります。無事で過ごせることの有難さを周囲の人に感謝し、いつも安全を意識し行動していきたいものです。